

2015年8月6日

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
2016年3月期 第1四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田 洋祐、以下当社）は、本日、2016年3月期 第1四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

■ 第1四半期連結累計期間（4月1日～6月30日）

	2016年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	前年比
売上高	42,282	37,754	+12.0%
営業利益	7,912	5,068	+56.1%
経常利益	9,543	4,855	+96.5%
純利益	5,999	3,408	+76.0%
1株当たり純利益	49.20円	29.57円	—

■ ご参考：通期（4月1日～3月31日）

	2016年3月期計画	2015年3月期	前年比
売上高	200,000～220,000	167,891	19.1～31.0%
営業利益	17,000～25,000	16,426	3.5～52.2%
経常利益	17,000～25,000	16,984	0.1～47.2%
純利益	11,000～18,000	9,831	11.9～83.1%
1株当たり純利益	90.21～147.62円	84.34円	—

詳細な情報は、本日開示の決算短信 (www.hd.square-enix.com/jpn/16q1tanshin.pdf) をご参照下さい。

ご参考：スクウェア・エニックス・ホールディングス IRページ <http://www.hd.square-enix.com/jpn/ir/>

2016年3月期 第1四半期は、デジタルエンタテインメント事業の内、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、ブラウザゲーム「戦国IXA」やスマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストモンスターズスーパーライト」、「スクールガールストライカーズ」、「ファイナルファンタジー レコードキーパー」、「乖離性ミリオンアーサー」などが引き続き好調に推移したことに加え、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」及び「ドラゴンクエストX」の追加ディスクの販売、運営が好調に推移しました。家庭用ゲーム機向けタイトル

においては、新作タイトルの販売が前年同期に比較して減少する一方、ダウンロード等による過去に発売したタイトルのリピート販売は好調でした。

アミューズメント事業においては、アミューズメント機器の発売が無かったものの、引き続き効率的な店舗運営に努めております。

出版事業においては、コミックス・ゲームガイド等の売上が堅調に推移しました。

また、ライセンス・プロパティ等事業においては、「ファイナルファンタジーXIV」の追加ディスクの発売に伴い、自社コンテンツのキャラクターグッズの販売が増加しました。

当社は、引き続き、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めてまいります。

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数6,600万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（1億1千万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（4,200万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。 (<http://www.square-enix.com/>)

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。